



柏崎刈羽原発・安全協定に
事前了解権を！
牧田 正樹（市民クラブ）



問／柏崎刈羽原発で多くの不祥事が発覚しているが、市としてどう受け止めているか。

答／花角県知事は「柏崎刈羽原発全体に対する信頼を失いかねない事態である」と見解を述べており、私も同じ認識である。東京電力の管理能力に疑念を抱かざるを得ない。徹底した調査による原因究明と万全の対策を強く求めたい。

問／他人のIDカードによる不正入室事案等について、関係自治体への報告を義務付ける条項を安全協定に加えるべきと考えるがどうか。

答／市町村研究会では、「通報連絡の在り方」

についての協議・検討を進めることとしている。

問／UPZ（原発から30km）圏内の自治体は事前了解権を有する安全協定の締結が必要と考えるが、市の見解はどうか。

答／国が専門的な知見に基づき、可否の判断基準もあわせて示すべきと考える。

ワクチンを希望しない人への配慮を！

問／新型コロナウイルスワクチンの安全性に不安を持つ人もいる。市民への情報提供と接種を希望しない人への差別防止策はどうか。

答／接種による効果や副反応の正しい情報を個別通知や広報上越等で周知する。また、個人の判断により接種を希望しない人が、不当な扱いや差別を受けることのないよう、啓発に努める。



新型コロナワクチン接種
副反応への対応は
池田 尚江（創風）



問／新型コロナウイルスワクチン接種に伴う副反応について、市民への情報提供と接種会場の急変時の対応をどのように進めていくか。

答／現在、国内の医療従事者への先行接種における副反応のデータ収集が行われている。4月以降の接種開始に当たっては、データに基づく副反応の情報を市民に伝えていく。集団接種会場では容態の急変に備え、医療機関への救急搬送も想定し上越地域消防局や救急指定病院等との連携体制を確保し、市民が安心して接種を受けられるよう努める。

問／集団的接種による集団免疫の意味を市民にどう伝えるか。

答／自分が接種を受けなくても周りが接種を受ければ集団免疫を獲得できるから受けない、ということとは避けなければならぬ。目的、効果、副反応の正しい情報を市民に周知していきたい。

感染症患者への誹謗中傷の抑止対策は

問／新型コロナウイルス感染症患者への誹謗中傷の抑止対策を強化すべきと考えるが、どうか。

答／感染確認後の記者会見の開催や広報紙などを活用し人権への配慮を啓発してきたが、いまだSNSなどで感染症患者や家族への誹謗中傷が散見され、遺憾に堪えない。今後も学校等での人権教育を含め市民への啓発を進めていく。



金谷地区公民館整備の
方向性と今後の日程は
こざつ 彰治（市民クラブ）



問／28地区で唯一、地区内に公民館が無い金谷地区の公民館整備の方向性と今後の日程は。

答／現在の高田区から金谷区内に移転新築する。令和3年度から適地選定等に着手する。

今冬の除雪体制の検証結果は

問／歩道除雪に関し、市と県との出動基準に相違がある。市の基準への統一を要請する考えは。

答／市は積雪10〜15cm、県は20cmを目安に出動する。地域の実情や現場状況に応じて適切な歩道除雪を実施している。

問／狭あい道路や生活道路などに係る除排雪費などの支援をする考えはないか。

答／現行では、町内会等の行った除排雪などの費用助成はない。今後、除排雪作業の仕組みづくりや支援制度について調査研究する。

問／雁木整備支援の地域指定の制限をなくし、全地域の雁木整備に見直すべきではないか。

答／指定した地域以外の補助は考えていない。

南葉山荘の再建は

問／南葉山荘が落雷により焼失して2年、同様な施設の再建はしないのか。

答／南葉山荘の再建は考えていない。山荘が担ってきた機能は、既存の学習施設やバンガローが代替機能を果たしている。